プレスリリース

ふくしま県ＧＡＰの新規認証について

令和８年１１月９日
福島県会津農林事務所

福島県では、農産物の安全確保や信頼性向上のため、ＧＡＰ（農業生産工程管理）の取得を推進しており、県が定めた基準に従い取組を行う生産者に対し「ふくしま県ＧＡＰ（ＦＧＡＰ）」の認証を行っています。

今般、会津農林事務所管内で新たに３件の事業者がＦＧＡＰの認証を受け、認証書を交付しましたので、お知らせします。

記

１　ふくしま県ＧＡＰ新規認証（会津農林事務所管内）

	認証の名称	市町村	区分名	品目名
１	農事組合法人　牛尾ライスセンター	西会津町	穀物	米
２	やまいち農園　穴澤　宏之	磐梯町	穀物	米
３	古川　重利	磐梯町	穀物	米

２　認証を受けた事業者の概要

別紙のとおり

【問合せ先】　福島県会津農林事務所農業振興普及部　副部長　五十嵐
（電 話 番 号）０２４２－２９－５３０１
（ＦＡＸ番号）０２４２－２９－５３１４

（別紙）

今回認証を受けた事業者の概要

令和８年１１月９日
会 津 農 林 事 務 所

１　農事組合法人牛尾ライスセンター

（１）経営内容

水稲 17.8ha、そば 2.0ha

（２）取組内容

西会津町の農事組合法人牛尾ライスセンターは、水稲とそばの栽培に取り組む農業法人で、穀物（米）でＦＧＡＰ認証を取得しました。安全安心な米の生産や経営の見える化に加え、農作業事故の防止や徹底した品質管理体制の構築を図るため、ＧＡＰ認証の取得を目指しました。

（３）写真



認証書の交付を受けた牛尾ライスセンターの目黒和人氏（左)、目黒輝夫氏（代表理事）(中央)、武藤喜多方農業普及所長（右）



牛尾ライスセンターの稲刈り作業

２　やまいち農園 穴澤宏之氏

（１）経営内容

水稲 13.5ha、そば 2.5ha

（２）取組内容

磐梯町の穴澤宏之氏は、水稲とそばの栽培に取り組む新規就農１年目の新規就農者で、穀物（米）で認証を取得しました。父親から農業経営を継承し、これまでの経営内容や設備の状況を整理するため、ＧＡＰの認証取得を目指しました。また、水稲では「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」のほか、「いのちの壱」や「にじのきらめき」など多くの品種を作付しています。

（３）写真



認証書の交付を受けた穴澤宏之氏



穴澤宏之氏のやまいち農園のお米

３　古川重利氏

（１）経営内容

水稲 3.6ha

（２）取組内容

磐梯町の古川重利氏は、水稲栽培に取り組む生産者で、穀物（米）で認証を取得しました。経営規模の拡大を進めており、従業員の雇用環境の整備や将来的な販路拡大のほか、福島県のオリジナル品種「福､笑い」の作付に取り組むため、ＧＡＰの認証取得を目指しました。

（３）写真



認証書の交付を受けた古川重利氏



水田の様子を見る古川重利氏